

平成30年度（横浜平沼高等学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理と、情報セキュリティ対策を徹底する。	成績処理、調査書作成、進路指導、奨学金等の各種業務における個人情報の管理を徹底した。また、「生徒へ連絡方法に係るガイドライン」の遵守を徹底し、携帯電話、電子メール・SNS等の使用に係る事故を防止した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜の実施と成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る体制と手順を明確にし、事故を防止する。	入学者選抜の実施と成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る手順とチェック体制を整備し、手順に従い業務を適切に行った。
業務執行体制の確保等	職員全体で業務の安全で円滑な執行のための体制づくりを進める。	職員一人ひとりが自己管理意識を持つように、グループリーダーは各グループ等の業務管理と進行管理を適切に行い、副校長・教頭は指導・助言を行った。また、業務の整理や進め方の見直しを行うとともに文書やデータの整理及び管理を適切に行い、業務の継承が円滑に行える体制を整備した。
会計事務等の適正執行	私費会計に係るルールを周知し、会計事務を適正に行う。	予算に基づき計画的な物品等の発注、確実な納品確認を行うとともに、支払い業務や文書及び帳票の処理及び保管を適切に行った。また、校長・副校長・教頭・事務長は、私費執行状況を調査し、会計処理上の指導を行った。
法令遵守意識の向上	公私を問わず高い倫理意識を求められる公務員として、県民の信頼の確保に向けて不祥事の根絶を目指す。	事故防止会議等をとおして職員の規範意識の啓発を図った。また、一斉点検マニュアルやチェックリストを活用し、全職員を対象とした規範意識の啓発のための研修会を実施した。
体罰、不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導を推進し、体罰・不適切指導を防止する。	生徒理解に基づく指導を推進し、体罰や不適切指導を防止した。生徒及び保護者との信頼関係を重視して指導を行った。
わいせつ・セクハラ行為の防止	啓発活動及び相談体制の整備によりわいせつ・セクハラ行為を防止する。	人権意識の向上のために啓発や研修会を実施した。また、新採用職員をはじめ、若手職員が相談しやすい体制を整備した。
交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、並びに交通違反を未然に防止する。	職員に対し、安全運転の励行、交通法規の遵守について、事故防止会議等を通じて意識啓発を行った。

○ 平成30年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成31年度に取り組むべき課題（学校長意見）

年間を通して打合せや事故防止会議全体会等で県教委の通知や啓発資料を配付し、不祥事防止について、各テーマに応じた指導を行っている。職員の意識喚起のために校内講師、外部講師による研修会も実施し、有効であった。31年度は、信頼に基づく生徒指導を目指し、人権尊重を重視して不適切指導を防止する取組をさらに進めたい。